



若桜町農建受第 2006号
平成20年10月24日

国土交通省 道路局長 様

若桜町長 小林 昌 司



「今後の道路行政についての意見・提案」について（回答）

平成20年9月19日国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、
別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など 様式 1 若桜町

◎道づくり

- 各自治体という小さな単位での発想でなく、国道、県道等それぞれの役割について関係機関が共通の認識を持ったうえで整備推進していくことが必要。
- 費用対効果を優先しないでもらいたい。
- 住民要望の強い路線に優先的に予算配分するのはやめてもらいたい。
- 公正に真に必要な道路の選定を行って欲しい。
- 公共交通の発達していない田舎ほど道路整備を必要としていることを忘れないで欲しい。

◎〔現状〕 1) 住民の高齢化 高齡化率 38.51% 近くの総合病院までの距離 若桜宿から30k 落折集落から45k 2) 国道29号、482号、その他県道など 災害時における代替え道路がない。 3) 除雪 住民の意識の中に「雪」が降るから不便だと感じている。 4) 道路渋滞 近くに働く場所や学校がなく遠距離通勤、 通学になるなど若桜町での生活が不便と感じ 過疎化の原因となっている。 5) 高速道路とのアクセスが悪く、観光資源等 十分活かすことができていない。 6) 交通手段として自家用車が欠かせない。	◎〔課題〕 その他専門的な病院は、殆ど鳥取市まで行かなければ無い。 (通院 不便 急病 心配) 災害時における緊急車両の通行ができないなど孤立集落が発生することが予想される。 降雪時の除雪対応の迅速化 交通アクセスの効率化 公共交通が未発達なため、不便で利用する人が少ない。
---	--

住民が安全と安心を感じられる地域

1) 高齢者・子供に配慮した道路づくり

交通渋滞の解消（道路改良、バイパス建設）

路面の段差解消（維持管理）

歩行者やドライバーに優しい標識の設置（ユニバーサルデザインの採用）

歩道の設置、拡幅（電動車いすの通行）

2) 通勤・通学できる道路づくり

交通渋滞の解消（走行時間短縮）

歩道設置（安全な通学）

3) 災害・緊急時における救助・支援

防災工事や代替え道路の建設（危険箇所の解消）

峰越し道路の建設改良

4) 高速道路へのアクセス道路の建設

観光資源を利用した活性化

農林産業の活性化

生活圏の拡大

道路施策の重点事項

様式 4 若桜町

○重点事項 ・ドライバーの満足度を高める	○代表事例 1)維持管理の徹底 舗装、白線の修復 路肩の清掃・除草 除雪など冬期間の管理 2)最新の道路情報の提供 災害等緊急時に対応した情報 3)ゆずりあいゾーンの設置 ドライバーの心理に合った走行の実現	○期待する効果や評価等 ・山間部における交通アクセスの改善	○その他
・地域活力の向上(観光振興)	1)河原インター線(郡家～河原)国道29号と姫鳥線との接続 県道下三河線(若桜～西栗倉)国道29号と姫鳥線との接続 2)国道29号の整備 道路拡幅、曲線改良、勾配修正、歩道設置 国道482号の整備 バイパスの早期完成、交通留め早期解除 県道若桜三河線の整備 不通区間の改良工事早期事業着手 県道若桜湯村温泉線の整備 交通留め区間の早期解除 県道停車場線の整備	・高速道路網(姫鳥線)の整備によりアクセス道路の重要性の確認 ・観光案内看板の充実ゆったりとした走行の推進 観光道路としての位置づけ ・城下町、宿場町など若桜町の歴史・文化に合わせた観光開発及び各地域間交流	
・高齢化社会に対応した総合的な交通安全対策	○危機管理対策 1)災害時における緊急車両等の通行確保防災工事、代替え道路の建設 ○地域住民が抱える諸問題解決	・高齢者の交通事故死亡者数の減少対策 ・緊急車両等走行時間短縮対策 ・付帯構造物、安全施設の設置	